

スキーオリエンテーリング真室川大会 2009 2009年2月7-8日 山形県真室川町

世界選手権まであと1ヶ月。
日本代表をかけて切磋琢磨
する姿が山形に集まった。

2009年2月7-8日 山形県真室川町
スキーオリエンテーリング大会 2009



真室川大会の全種目で優勝した堀江
鋭い、切れのある滑りが特徴だ。

男子ロング種目

1 堀江守弘	1:22:51
2 田中陽希	1:31:16
3 高橋善徳	1:40:36
4 黒田幹朗	1:42:01
5 山田敦史	1:45:50
6 東井透	1:57:37

女子ロング種目

1 酒井佳子	1:04:34
2 高橋美和	1:23:04
3 白鳥桂子	1:31:41
4 大里真理子	2:54:27

男子スプリント種目

1 堀江守弘	0:15:34
2 田中陽希	0:16:15
3 高橋善徳	0:18:30
4 山田敦史	0:19:44
5 柴田達真	0:20:29
6 関清	0:21:31

女子スプリント種目

1 酒井佳子	0:13:27
2 高橋美和	0:16:49
3 白鳥桂子	0:18:16

男子ミドル種目

1 堀江守弘	0:27:57
2 田中陽希	0:31:24
3 黒田幹朗	0:33:32
4 高橋善徳	0:35:42
5 山田敦史	0:36:42
6 柴田達真	0:45:28

女子ミドル種目

1 酒井佳子	0:33:46
2 高橋美和	0:42:33
3 白鳥桂子	0:44:29
4 大里真理子	1:16:39

やはり強い！堀江

昨シーズンから、日本男子には強力選手の参入があり上位争いは厳しさを増している。そんな中、ここ数年日本男子のエースを張っている堀江守弘が意地をみせた。真室川大会の全種目で優勝を飾った。その強さは今年も健在だ。こうした厳しく競い合える環境を最も喜んでいるのは堀江だろう。

細身の体がナイフのように雪を切り裂いてゆく鋭い滑りが特徴だ。

田中陽希！2枚看板に

今シーズン注目の選手・田中陽希。今回の真室川大会では全種目で堀江に続き2位となった。今や日本男子は堀江・陽希が2枚看板である。

田中陽希は昨シーズンからスキー0を始めた25歳。北海道富良野で育ち、大学卒業までクロスカントリースキー選手として活躍してきた。今回大会が開催された真室川のクロスカントリーコースは過去の学生選手権で訪れたことがあるという。

大学卒業とともにアドベンチャーレースの世界に飛び込み、プロレーサーとして活躍している。所属はオリエンティアにもお馴染みのイーストウィンドである。ナビゲーション技術はイーストウィンド仕込み。全種目にわたって安定した成績を残している。

今年は北海道富良野に戻り、ルストツに向けてトレーニングの毎日を送っている。長身の体から繰り出す大きな滑りが特徴だ。



ストレッチする田中陽希
真室川大会スプリント競技前



フットオリエンテーリングの
アジアチャンプ高橋善徳。
スキーオリエンテーリング世界戦にも出場。

アジアチャンプ・善徳！

フットオリエンテーリングの世界で、2008年アジア大会で男子個人3部門を全制覇した高橋善徳。その善徳がスキー0にも参入している。高橋善徳は福島県の出身でクロスカントリースキーに

も近い位置にあった。

真室川大会でも、ロング種目、スプリント種目とも堀江・陽希に次ぐ3位となっており、ルスツでの世界選手権ではオールラウンドな種目で活躍が期待できる。

ミドルで一発！黒田

ルスツ出場を夢に猛練習を重ね、ここ1年で急成長したのが黒田幹朗。ミドル種目に照準を定めて臨んだ真室川大会。黒田自身が「ベストレースだった」と振り返るレースで、堀江、田中に続く3位に食い込み、文句なしの成績でルスツのミドル種目出場を手にした。

夢を現実にするチカラで、ルスツのミドル種目に一発かましてくることを期待したい。



真室川スプリント種目スタート直後の黒田幹朗。この種目の成績は不本意だったが、その後のミドルでは大金星。

ロングにフォーカス 山田敦史

過去の世界選手権にも出場し、ルスツでもロング種目にフォーカスしている山田敦史。真室川大会ではスプリント種目4位、ロング種目5位、ミドル種目5位と選考会基準のボーダーラインである。

だがそこは地元開催の世界選手権。多くの選手が得意競技に専念することで最高の結果を残すことができるだろう。ロング種目4人目の刺客として、経験豊かな山田敦史が選考された。山田敦史自身の個人目標であるロング30位だけを目指して、ルスツまでの1ヶ月の間に準備を重ねてゆくだろう。「世界のヤマアツ」になる日も近い。



ロング種目にフォーカスして「世界のヤマアツ」へ 山田敦史



日本女子のエース 酒井佳子
日本選手団全体のチームリーダーも務める

ダントツ！酒井佳子

層の薄いスキーオリエンテーリング日本女子選手にあって酒井佳子の速さはダントツだ。それはもはや孤高と言ってもいいだろう。正直、個人競技では世界に通用するのは酒井佳子だけと言っても過言ではない。

昨年まで東京勤務だった彼女は志願して青森勤務。それだけスキーオリエンテーリングにかける情熱は高い。すべては世界と互角に渡り合うためだ。

真室川大会3日後の2月11日に有志がまた真室川コースに集まって練習会

を行った。そこで酒井は男子ロングコースを試走したところ1時間40分のタイムを叩き出したらしい。これは男子でも3位のタイムに相当する。

高橋美和 日本女子の鍵

真室川大会で女子全種目2位になったのは高橋美和。今シーズンは仕事の都合で練習が思うようにできていないが、それでも積極的に練習をこなす。昨シーズンはかなり食欲にトレーニングをこなしてきた。

2007年の世界選手権モスクワ大会の時からスキー技術・体力ともかなり上達し、日本女子では2番手になっている。しかし酒井との差は依然として大きい。ルスツ出場で世界選手権は3回目になる。

スキーオリエンテーリングの女子部門は世界選手権と言えども層が薄い。さらに今回は本場ヨーロッパを遠く離れた日本で世界選手権が開催されることにより、層がより薄くなることは確実だろう。

そんな中、日本女子リレーの成績が前回モスクワ大会での8位を上回り、入賞対象の6位に入れるかどうか注目が集まる。

どこの国にも世界に通用する選手がいるが、リレーの順位を最終的に決定しているのは、その国の2番手、3番手の選手である。こうした意味では、日本女子リレー入賞は高橋美和、白鳥桂子の出来にかかっていると言えるだろう。まずはケガや病気をしない万全の体調で大会に臨み、雰囲気飲み込まれずに確実にコントロールを回ることが求められている。



技術的に成長した高橋美和

地元出場 白鳥桂子

田中陽希と並んで地元・北海道からルスツ世界選手権に出場するのが白鳥桂子。その気になれば自宅から世界選手権会場へ通うことも可能だ。3歳の娘を育てながら、仕事をしつつトレーニングを続ける。頑張りママさんアスリートだ。

ルスツの世界選手権では娘が応援に来る。自然と力が入るだろう。

実力的に高橋美和に近い白鳥桂子は、日本女子リレー入賞の鍵を握る存在である。地元の利を最大限に活かし、ベストな体調で世界選手権に臨んでもらいたい。



真室川大会ミドル種目競技中の白鳥桂子

真室川から世界へ

大会は真室川・秋山クロスカントリースキーコースを基本としてそこから周囲の牧場、オープン、森林にスノーモービルで多くのトラックを入れた特設コースで行われた。

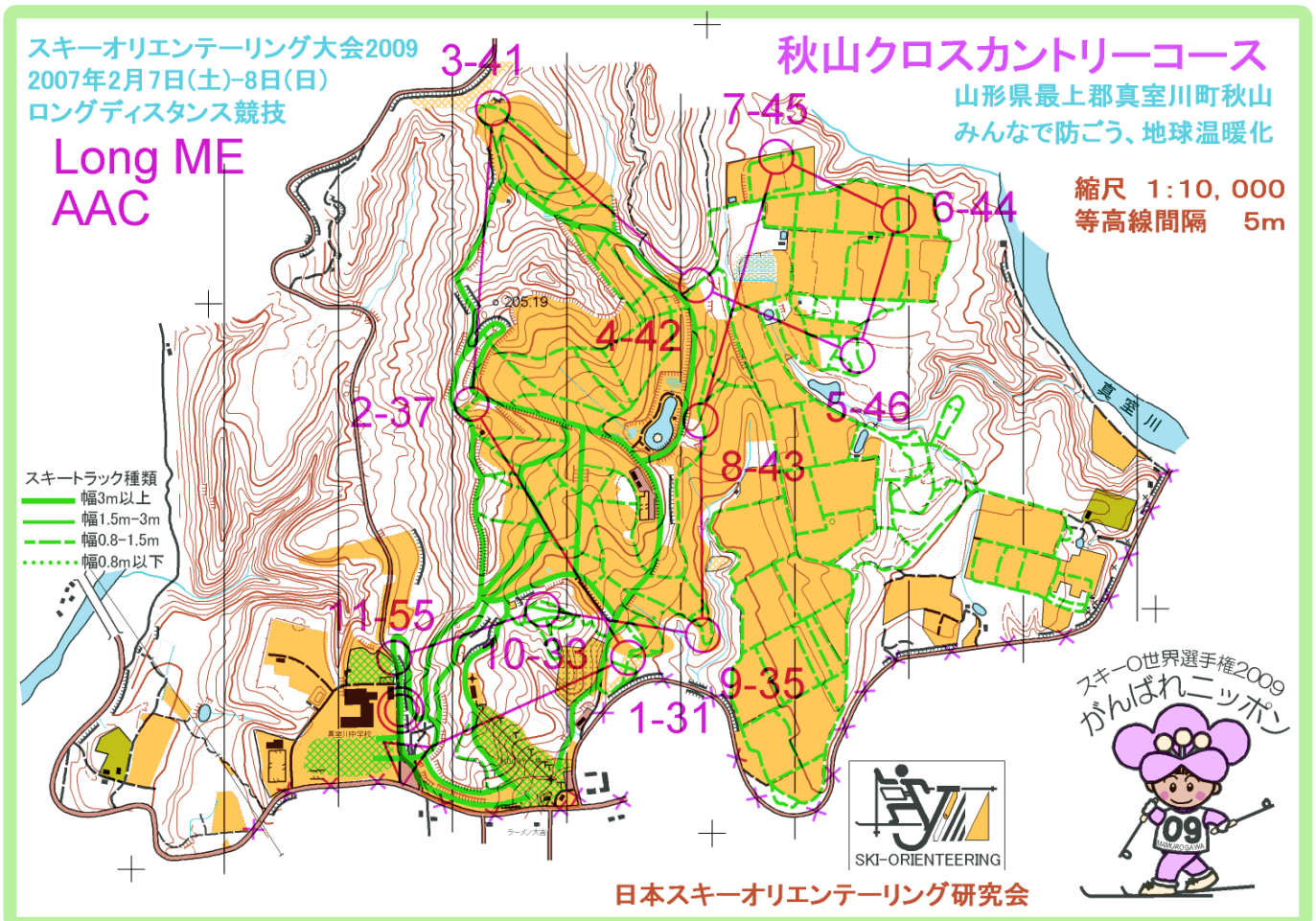
この真室川・秋山コースは過去に国体や学生選手権も行われたコース。地元クロカン選手も愛用しているコースである。ここ真室川からクロカンスキーで世界に巣立っていった選手が多い。そしてスキーオリエンティングでも世界選手権ルスツ大会に向けて多くの選手が選考されていった。

運営側も、ルスツ世界選手権のリハーサル大会として機材のテストを行うことができた。スキー0運営が始めての人も競技の流れをつかむことができた。ありがとう真室川。

(木村佳司)

2日間で3レース

スキー0 真室川大会は2日間の日程で開催され、その間にロング、スプリント、ミドルの3レースが行われた。男子ロング種目では滑走距離は20kmを越える。ハードスケジュールの中、選手たちは素晴らしい結果を残してくれた。



スキーオリエンティング真室川大会 2009 男子ロング種目で使用した地図。競技はマスタートによるワンマンリレー形式で行われた。男子選手権は3枚の地図を使い、レース途中での地図交換は2回。ルスツでの世界選手権ロング種目と同じ形式で開催された。